

商品名 テルミサルタン錠20mg「YD」 医薬品基本情報

薬効	2149 その他の血圧降下剤	一般名	テルミサルタン20mg錠
英名	Telmisartan	剤型	錠
薬価	10.40	規格	20mg 1錠
メーカー	陽進堂	毒劇区分	

テルミサルタン錠20mg「YD」の効能・効果

高血圧症

テルミサルタン錠20mg「YD」の使用制限等

1. 本剤成分又は含有成分で過敏症の既往歴、重篤な肝障害、胆汁の分泌が極めて悪い、アリスキレンフマル酸塩投与中	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	禁止
2. 両側性腎動脈狭窄、片腎で腎動脈狭窄、高カリウム血症	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	原則禁止
3. 手術前24時間	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	希望禁止
4. 肝障害	記載場所	用法・用量
	注意レベル	注意
5. 腎機能障害、血清カリウム値が高くなりやすい、コントロール不良の糖尿病、脳血管障害、厳重な減塩療法中、重篤な腎障害、血清クレアチニン値3.0mg/dL以上、血液透析中、肝機能障害	記載場所	使用上の注意
	注意レベル	注意

テルミサルタン錠20mg「YD」の副作用等

1. 高カリウム血症、腎機能障害、急性腎障害、ショック、冷感、嘔吐、黄疸、AST上昇、ALT上昇、γ-GTP上昇、肝機能障害、低血糖、脱力感、空腹感、冷汗、手の震え、集中力低下、痙攣、意識障害、アナフィラキシー、呼吸困難、血圧低下、喉頭浮腫、発熱、咳嗽、胸部X線異常、間質性肺炎、筋肉痛、CK上昇、血中ミオグロビン上昇、尿中ミオグロビン上昇、横紋筋融解症	記載場所	重大な副作用
	頻度	頻度不明

2. 失神、意識消失	記載場所	重大な副作用
	頻度	5%未満
3. 顔面腫脹、口唇腫脹、咽頭腫脹、喉頭腫脹、舌腫脹、腫脹、血管浮腫、喉頭浮腫、呼吸困難	記載場所	重大な副作用
	頻度	0.1%未満
4. 過敏症、紅斑、じん麻疹、不眠、抑うつ状態、好酸球上昇、血小板減少、ヘモグロビン減少、貧血、低血圧、起立性低血圧、徐脈、鼓腸、嘔吐、関節痛、下肢痙攣、下肢痛、筋肉痛、背部痛、腱炎、低ナトリウム血症、視覚異常、多汗、胸痛、上気道感染、インフルエンザ様症状、尿路感染、膀胱炎、敗血症、しびれ、味覚異常	記載場所	その他の副作用
	頻度	頻度不明
5. そう痒、発疹、めまい、頭痛、眠気、頭のぼんやり感、不安感、白血球減少、ほてり、心悸亢進、ふらつき、上室性期外収縮、心房細動、上室性頻脈、腹痛、下痢、嘔気、食欲不振、消化不良、胃炎、口渇、口内炎、AST上昇、ALT上昇、Al-P上昇、LDH上昇、肝機能異常、咳、喀痰増加、咽頭炎、血清クレアチニン上昇、血中尿酸値上昇、血清カリウム上昇、耳鳴、倦怠感、CRP陽性、CK上昇、浮腫、脱力感、発熱、頻尿、結膜炎、目のチカチカ感、羞明	記載場所	その他の副作用
	頻度	5%未満
6. 肝炎、重篤な肝障害	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明
7. 急速に腎機能悪化、急激な血圧低下、腎不全、頭蓋形成不全、肺形成不全、腎形成不全、死亡、羊水過少症、低血圧、高カリウム血症、四肢拘縮、頭蓋顔面奇形、肺発育不全、出生仔4日生存率低下、出生仔低体重、出生仔身体発達遅延、脳梗塞、頻脈	記載場所	使用上の注意
	頻度	頻度不明

テルミサルタン錠20mg「YD」の相互作用

1. 薬剤名等：アリスキレンフマル酸塩

発現事象	非致死性脳卒中・腎機能障害・高カリウム血症及び低血圧のリスク増加	投与条件	糖尿病患者に使用する場合（ただし、他の降圧治療を行ってもなお血圧のコントロールが著しく不良の患者を除く）
理由・原因	レニン－アンジオテンシン系阻害作用が増強	指示	禁止

2. 薬剤名等：アリスキレンフマル酸塩

発現事象	-	投与条件	eGFRが ≥ 60 mL / min / 1.73 m ² 未満の腎機能障害
理由・原因	レニン－アンジオテンシン系阻害作用が増強	指示	原則禁止

3. 薬剤名等：ジゴキシン

発現事象	血中ジゴキシン濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	-	指示	注意

4. 薬剤名等：カリウム保持性利尿剤

発現事象	血清カリウム濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	カリウム貯留作用が増強	指示	注意

5. 薬剤名等：カリウム補給剤

発現事象	血清カリウム濃度が上昇	投与条件	-
理由・原因	カリウム貯留作用が増強	指示	注意

6. 薬剤名等：リチウム製剤

発現事象	中毒	投与条件	-
理由・原因	ナトリウムイオン不足はリチウムイオンの貯留を促進するといわれているため、本剤がナトリウム排泄を促進することにより起こる	指示	注意

7. 薬剤名等：利尿降圧剤

発現事象	急激な血圧低下	投与条件	-
理由・原因	利尿降圧剤で治療を受けている患者にはレニン活性が亢進している患者が多く、本剤が奏効しやすい	指示	注意

8. 薬剤名等：非ステロイド性抗炎症薬

発現事象	糸球体ろ過量がより減少、腎障害のある患者では急性腎障害	投与条件	-
理由・原因	プロスタグランジン合成阻害作用により、腎血流量が低下	指示	注意

9. 薬剤名等：非ステロイド性抗炎症薬

発現事象	降圧薬の効果を減弱	投与条件	-
理由・原因	血管拡張作用を有するプロスタグランジンの合成が阻害	指示	注意

10. 薬剤名等：アンジオテンシン変換酵素阻害剤

発現事象	高カリウム血症、低血圧、急性腎障害を含む腎機能障害	投与条件	-
理由・原因	レニン－アンジオテンシン系阻害作用が増強	指示	注意

11. 薬剤名等：アリスキレンフマル酸塩

発現事象	高カリウム血症、低血圧、腎機能障害	投与条件	-
理由・原因	レニン－アンジオテンシン系阻害作用が増強	指示	注意



薬学をはじめとする専門知識と情報処理技術が実現する高い信頼性と豊富な情報量

医薬品データベースの決定版 『 DIR 』

Copyright© 2005-2025 e-pharma All rights reserved.